

秋のクマに注意！

秋季は、冬眠を目前にしたクマが、食べ物を求めて一年の中で最も活発に行動します。餌となるドングリ類のほかに、カキやクリなどを求めて山里から平野部に出没する可能性が高くなると予想されますので、嚴重な注意が必要です。

県内の山はすべてクマの生息域ですので、仕事や趣味で山に入られる方はもちろんのこと、普段クマを見かけない地域においても、クマの被害に遭わないために、以下のことに気をつけて下さい。

山際～平野部では、引き寄せない、出会わない対策を実施しましょう！！

◇カキ、リンゴ、ブドウなどのクマが好む果物を適切に収穫する。

(庭や畑にカキの木はありませんか？収穫の見込みのないカキの実などは、放置しておくでクマを呼び寄せることがあります。早めに収穫しましょう。)

◇野菜などの収穫後は、未収穫のものを畑に残さない。

(畑の未収穫野菜の回収や家庭での生ゴミの管理徹底など、クマのエサとなるようなものを自宅や畑の周りに置かない。)

◇朝夕の外出時は、たとえ人家近くでも鈴、ラジオなど音が出るものを携帯し、クマに自分の存在を知らせる。

(農作業は、なるべく複数で行い、朝夕の時間帯は避けて、たとえ自宅近くや玄関先であっても外出の際は、鈴やラジオなどで音を出すようにしてください。クマは聴覚や嗅覚が人より優れているため、人の接近をいち早く察知し、人を避けます。)

山では、出会わない対策を実施しましょう！！ (県内すべての山にクマは生息！！)

◇クマの出没状況を確認し、危険な場所には近づかない。

(糞や足跡、爪跡など痕跡を発見したら、注意して引き返しましょう。)

◇朝夕は山中に入らない。日中も自分の存在を知らせるために、鈴やラジオで音を出すようにしてください。(クマは朝夕に活発に動きますが、日中も気をつけてください。)

◇子グマを見たらそっと立ち去る。

(近くには必ず母グマがいます。子グマがかわいいからと近づいたりすると、母グマは子グマを守ろうとして人を攻撃してくることがあります。)

◇キノコ採りはほどほどに。

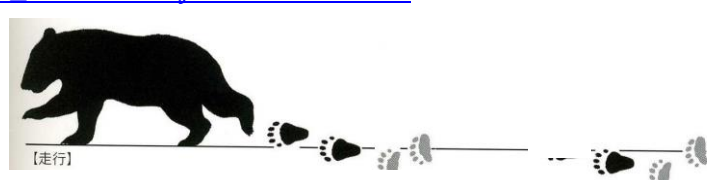
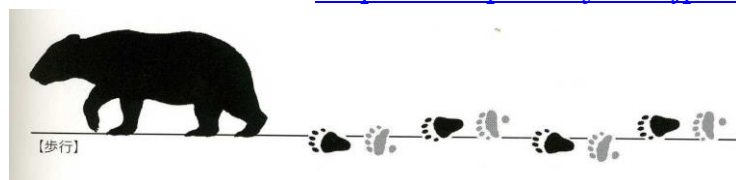
(クマの生息域ですので、夢中になりすぎず、常に周囲の状況確認をしましょう。)

◆クマを目撃したり、クマの痕跡を見つけた場合は、直ちに市町村に連絡してください。

◆クマ撃退スプレーは、登山用具店で購入することができます。

◆平成 30 年 ツキノワグマの目撃痕跡情報

URL http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1709/kj00018579.html



【参考文献】米田一彦 (1996)「山でクマに会う方法」, 米田一彦 (1998)「生かして防ぐ クマの害」

今泉忠明 (+平野めぐみ) (2004)「野生動物観察事典」